

歯ぐきの変色、原因と対策

歯の色と同様に、歯ぐきの色というのもやはり気になりますよね。昔はきれいなピンク色だったのに、いつの間にか黒ずんでしまった、という方もいるのではないのでしょうか。歯ぐきの色が悪いと、歯ぐきが不健康に見えたり、老けて見えたりする原因になります。歯ぐきの色が気になっている方はお気軽にご相談ください。

歯ぐきが変色する原因

◆タバコ

タバコから出る一酸化炭素は、歯茎を酸欠状態にするので、歯ぐきが血の気のない色になります。また、タバコに含まれるニコチンは、ビタミンCを破壊するため、メラニン色素が増え、歯ぐきに色素沈着を起こしてしまいます。さらに、日常的な受動喫煙でも歯ぐきの色素沈着が見られることがわかっています。



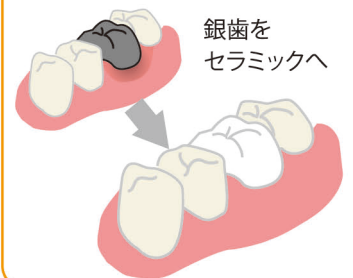
◆歯周病

歯周病が進行してくると、歯ぐきの血の流れが滞ってうっ血を起こして、だんだんと赤黒い色をした歯ぐきになっていきます。



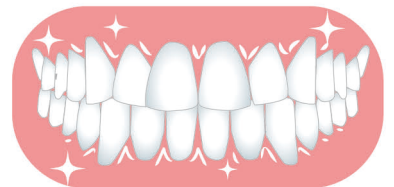
◆歯科金属の影響

歯科金属によっては、金属の溶け出しにより、歯ぐきに黒っぽい色素沈着を起こすことがあります。



歯ぐきの変色への対策

歯ぐきの変色に対しては、まず原因を取り除く必要があります。歯周病の場合には治療によって歯ぐきの色も改善していく可能性があります。その他の場合は、歯科用レーザーや薬剤を使ってメラニン色素を取り除くといった方法があります。



仮歯は一時的なもの、仮歯のまま放置してはいけません

歯科治療では、治療中の歯の保護や見た目を損なわないために仮歯を装着することがあります。仮歯は見た目を一定程度改善できるため、仮歯の状態をそのまま放置してしまう方がいます。しかし、仮歯は一時的な治療法であり、長期的な使用を目的としてはいません。仮歯の材料は劣化しやすく、長期間使用すると外れたり破損したりして、様々な問題を引き起こす可能性があるため最後までしっかり治療を受けましょう。



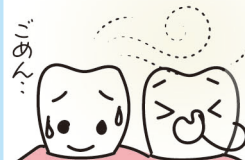
仮歯が破損したり外れたりすると、歯の悪化の原因になる



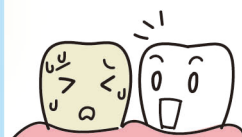
仮歯はプラークが付着しやすいため、歯茎が炎症を起こすリスクが増加する



仮歯の材料は吸水性があるため、唾液を吸ってしまい口臭の原因になる



仮歯の材料はプラスチックなので長く放置すると変色する



歯を抜いた部分の仮歯が外れてそのまま放置すると歯が移動してしまう

